

フィリピン初の 地下鉄事業着工

オリコンサルグローバル

オリエンタルコンサルタ
ンツグローバルは2月28
日、フィリピン初の地下鉄
プロジェクト「マニラ首都

圏地下鉄事業（フェーズ
1）」が着工したと発表した。
同27日に現地で行われ
た起工式には関係者が出
席、工事の無事完成を祈っ
た。

着工したのは、首都・マ
ニラの北部に位置するケソ
ン市と南部のパラニャケ市
（延長約25^{キロ}、15駅）を結
ぶ地下鉄プロジェクト。国
際協力機構（JICA）が
行った事前評価によると、
総事業費は約7935億
円。うち円借款の対象額は
約5737億円で、STE
P（本邦技術活用条件）を
適用する。同社やパシフィ
ックコンサルタンツら6社
JVが約260億円でCM
（コンストラクションマネ
ジメント）業務を受注。入
札支援や施工管理を担う。
先行整備する3駅と車両
基地を2022年まで、残
る12駅を25年までに完成さ
せる。マニラで発生する慢
性的な交通渋滞の解消と輸
送力が強化される。